

「中国・アジア・ダイジェスト」

2013.04.22-04.26

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月22日(月)

中国にロボット工業会
日中独76者/全土を包括

中国で事業活動するロボットメーカーは、中国全土を包括する初のロボット工業団体「中国ロボット産業連盟」(CRIA)を設立した。日中独の団体など76者が参加。安全規格の策定も。(1面)

日本勢、総力戦で反攻
上海モーターショー

「上海国際モーターショー」が開幕。日中関係の悪化で販売に苦しんでいた日本メーカーは相次いで品ぞろえを拡充し、「総力戦」で反転を狙う。VWなど欧米勢は、リードを広げていた。(5面)



トヨタは新型コンパクトカー「ヤリス」で攻勢をかける

VW、中国製造担当10万人
販売店担当16万人体制

独フォルクスワーゲンは、2018年に中国で自動車の製造に携わる従業員を2万5000人増となる10万人にする。大規模な設備投資に並行して増員。販売店の担当者も約2倍の16万人に。(5面)

中国人大学生の採用支援
ソーシャルリクルーティング

SNSを活用した採用支援大手のソーシャルリクルーティングは、中国人大学生の採用を目指す日本企業向けに、成果報酬型サービスを始めた。独自の専用サイトを立ち上げた。(8面)

テレビ初の「エコマーク」
パナソニック/20機種

パナソニックは、テレビ20機種で製品の環境配慮性を認定する「エコマーク」を取得。パッケージに水銀を使わない製品の採用などで環境基準に適合。中国・韓国とも相互認証へ。(12面)

4月23日(火)

訪中しても成果見込めず
使節団延期/経団連会長

経団連の米倉弘昌会長は、5月に予定していた中国使節団の延期について「日中韓首脳会談が延期見通しなどを踏まえ、現時点で訪中しても成果が上がらない」と理由を見せて述べた。(3面)

東郷製作所、A T用バネ工場
アイシンAW増産対応

東郷製作所は、常熟市に自動車用バネとホースクランプを生産する工場を建設し、2014年春をめどに稼働する。当初はA T用バネを生産、中国でA Tを増産するアイシンAWに供給する。(7面)

中国の小型車・苦戦続く
日本勢/問われる競争力

日本の自動車メーカーが、中国での小型車販売で苦戦を深めている。日本メーカーは将来の排ガス規制強化に対応するという大義をかなえるためにも、多面的に競争力を高めていく必要がある。(7面)

アマダ、中国に7営業所増設
武漢・杭州・広州・東莞など候補

アマダは、2014年3月までに中国の営業所を現在の15カ所から22カ所に増やす。候補地は合肥、武漢、杭州、寧波、広州、東莞など。販売網を拡充により、中国事業拡大を加速する。(8面)

三菱電機、放電加工機を拡販
産口と組み合わせ自動化

三菱電機は、産業用ロボットと組み合

わせた自動化提案を武器に、中国市場でワイヤ放電加工機を拡販する。自社製の小型垂直多頭節口ボットを使い自動化するシステムを構築。(8面)

輸入部品、香港に集約
物流費を半減/トブコン

トブコンは、2014年3月に輸入部品の物流費を半減させる。測量機や眼科検査装置向けなどで物量の多い中国部品の日本への輸送方法を変更する。香港拠点に集約し、一括して日本へ。(8面)

商用サイト開設、一括提供
フューチャースピリット

フューチャースピリットは、中国国内のデータセンターを利用した共用レンタルサーバの提供を日系向けに始める。中国で商用サイトを開設するためのICP申請やドメイン取得まで代行。(10面)

アルミ鍛造拠点の増強完了
神鋼/倍増、月25万本

神戸製鋼所は、蘇州市のアルミニウム鍛造拠点の増強工事を完了し稼働を始めた。自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の生産能力を従来比2倍の月間25万本に倍増。(12面)

4月24日(水)

小糸製作所、広州の増強再開
夏にも稼働/デモで凍結中

小糸製作所は、反日デモで凍結していた広州工場の増強投資を再開し、今夏にも稼働する。生産能力の増強で、広州工場の2014年3月期の売上高は約100億円増の230億円になる。(3面)

日新精工、エンジン部品増産

日新精工は、常熟市の自動車エンジン用樹脂部品工場を増強する。約5億円投資。インタークマニホールドなどの生産ラインを8本増設し11本にする。現地の第一汽車と長城汽車向け増強。(7面)

ジャトコ、最新型の無段変速機
広州で生産/東風日産向け

ジャトコは、中国の生産子会社、ジャトコ(広州)自動変速機で最新型の無段変速機「CVT8」の生産を開始した。現地生産能力は年約90万台。東風日産の中国向け「ティアナ」に搭載。(7面)

中国の営業拠点、10月統合

森精機・独ギルデ

森精機製作所の森雅彦社長は、独ギルデマイスターと森精機が別々に持つ中国の営業拠点を10月1日に統合する方針。社員、顧客のトレーニング施設を2014年春に天津工場に設置する。(8面)

三共製作、杭州工場を移転増強
工作機械向け製品増産

三共製作所は、杭州市の工場を市内で移転増強、9月稼働。新工場は、産業装置用位置決めユニットに加え、工作機械用オートレバッテーションジャーナルなど工作機械向け製品の生産も増強。(8面)

4月25日(木)

鳥インフル「指定感染症」に
厚労省/5月上旬施行

中国で広がるH7N9型鳥インフルエンザについて厚労省は、感染症法に基づく「指定感染症」に指定する方針が厚生科学審議会感染症部会に了承。5月上旬の政令施行を目指す。(2面)

トップ・フォームズが出資

浙江栄織華印刷/ビジネスフォーム
トップ・フォームズは、浙江省平湖市の浙江栄織華印刷と、資本業務提携を締結。トップ・フォームズは栄織華にビジネスフォームとデータ・プリント・サービスの製造技術とノウハウを提供する。(10面)山梨の中小製造を常設展示
中国進出を支援/支援機構

やまなし産業支援機構は、県内中小企



山梨県の中小企業が進出を予定する昆山賽格電子市場

次回は -

「中国・アジア・ダイジェスト」面の
次回は5月13日(月)に掲載します。業の中国進出を支援する。機械・電子、
部品加工など中国の中小約400社が入居する
昆山市の常設展示施設に県内中小が
アンテナショップを設置。(32面)

4月26日(金)

大王製紙、紙おむつ工場
月300万枚/南通市11月稼働大王製紙は、中国にペーパー用紙おむつ
を生産する工場を建設する。約60億円投
資。江蘇省南通市に100%出資の現地法
人を設立。生産能力は月300万枚。工場
は10月に完成、11月稼働。(11面)即席ラーメン、中国1位440億食
2012年/世界1000億食突破
2012年の世界のインスタントラーメン
総需要が1000億食を突破、1014億2000万
食だった。1位が中国で440億食、2位
がインドネシアで141億食、3位が日本
で54億食。(12面)

TEL OP

ヤマダ電機、南京店を閉鎖
来月末(23日)14面)フリーマガジン発行企業に出資
日本アジア投資など(23日)19面)ファーウェイ製データ通信機発売
auなど(24日)11面)

ひと

ピリ辛採点

「工作機械の生産額は
中国に抜かれたが、質と
量を総合的に考慮すれば
日本が依然ナンバー・ワン」と牧野フライズ製
作所社長の牧野二郎さん。機械の使い方
は北米が進んでいるが「使い方も一番と思
っている」。ピリ辛採点には、国内顧
客の向上への熱い思い。(26日=7面)

ASIA

4月22日(月)

日本の中小・インド進出を支援
北インド貿易センター/本社が協力インドのディベロッパーと印ビジネス
のコンサル会社は、北インドでは初めて
のワールドトレードセンターへの日本の
中小企業の進出で覚書。日刊工業新聞社
が協力して包括的に支援する。(1面)経済連携の強化を確認
APEC/貿易担当相会合が閉幕APEC貿易担当相会合は、声明を探
査して閉幕。「貿易・投資の自由化に向
けた」地域的取り組みを進めることの重
要性を確認」と明記。経済連携の強化を
重視する姿勢を強調。(時事=2面)ベトナム国際港の建設受注
五洋建設JV/約130億円五洋建設は、東亜建設工業との共同企
業体(JV)で、ベトナム運輸省から北部の
ハイフォン市に新設する国際港「ラックフェン港」
建設工事を受注した。受注額は約130億円。(15面)

4月23日(火)

日韓が連携で一つの経済圏
ソウルで経済人会議ソウルで「第45回日韓経済人会議」を開
く。主題は「世界経済秩序の再編と新
しい日韓関係」。アジアの新興国市場の
成長で、日韓が連携して一つの経済圏、
を形成の共有などを焦点。(3面)

4月24日(水)

ベトナム高炉、決断に時間
JFE/Eコスト競争力見極めJFEホールディングスの岡田伸一副
社長は、傘下のJFEスチールが参画を
目指すベトナムでの高炉一貫製鉄所建設
について「コスト競争力を見極めるため
時間がほしい」と述べた。(3面)

4月25日(木)

リコーエレメックス、タイで進出
自動車エンジン部品リコーエレメックスは、タイに進出する。
7月に親会社のリコーエラヨーン県
に持つタイ工場の一部を間借りし、自動
車エンジン部品の生産を開始。2014年度
には自社工場の建設も検討。(7面)アジア戦略機、小型を投入
横中ぐり盤/倉敷機械倉敷機械は、アジア向け戦略機の横中
ぐり盤「AKB」シリーズに、従来機よりも
小型のモデルを追加する。従来機はス
ピンドルの直径が130ミリ。新モデルは
一回り以上小さくなる。(8面)日立ハイテク、インドに現法
鉄道・自動車・製薬に照準日立ハイテクノロジーズは、インドに現地
法人を設立。産業用機器や工業・電子
材料、ソフトウエア製品の販売・サービス
を手がける。道路や鉄道、自動車、製
薬分野に照準。(11面)タイのメキシコ板設備が稼働
JFEスチール/日系自動車向けJFEスチールは、タイで建設中だった
自動車用溶融鉛メキシコ設備が稼働。
日系自動車メーカーの現地調達ニーズ
に対応し、自動車用高級鋼板の需要増を
取り込む。(12面)

タイにリスク評価会社

インターリスク総研は、タイにリスク
評価の子会社を設立。洪水以降、自然災
害への対策や事業継続計画作成の見直し
が高まっている。日系企業が現地に専門
会社を設立するのは初めて。(19面)川重、三星重工業から受注
シャトルランカー用推進機川崎重工業は、韓国・三星重工業から
シャトルランカー用推進機を受注した。
ノルウェーのスタットオイルのバレンツ
海油田開発に使用されるシャトルランカ
ー2隻に搭載。受注額は10億円。(8面)日本電産、ベトナムに開発拠点
車載部品・携帯向け電子部品日本電産は、ベトナム・ホーチミン市
のハイテクパークに技術開発センターを
2014年秋に開設する。ベトナムで生産す
る車載部品や携帯電話向け電子部品、モ
ーターの商品開発拠点。(10面)

4月26日(木)

ホンダ、印で現調90%

小型車2車種/設計から考慮
ホンダは、印で生産の小型車「シティ」「ジャズ(日本名フィット)」の2車
種について、構成部品の現地調達率を10
が超90%以上に。現地調達しやすい
面を設計する体制を整える。(1面)

建機レンタルでインドネシア

アクティオが進出
アクティオは、建設機械のレンタル・販
売でインドネシアに進出する。2013年6
月にも現地企業と合弁会社を設立す
る。国内最大手のASEAN拡大で他社
の海外進出も加速しそう。(1面)三井造、港湾クレーン3割増強
東南アなど/ヤード新設三井造船は、大部分事業所で港湾用など
のクレーンの生産能力を3割高める。
2013年度10億円投資。東南アジアやア
フリカ、中近東などでのコンテナヤードの
新設。日本、米国での更新需要。(7面)丹羽鋳造、ベトナムに鋳造工場
東南アなど/高品質品に対応丹羽鋳造は、2016年稼働をめどに、ベ
トナム・ダナン市に鋳造工場を建設す
る。国内は第2工場を軸にマザーワーク場の
機能。東南アジアや中国、インドで高ま
る高品質品への需要に対応。(7面)サッポロ、東南アでビール拡販
ベトナム発/日系企業進出サッポロインターナショナルは、ベト
ナムを中心に東南アジアでビールを拡
販。日系企業の進出に合わせ自社ビール
を扱う飲食店が増加。インドネシア、ミ
ャンマーなども開拓。(13面)ダイハツ、本格生産足踏み
インドネシア/政策施行遅れダイハツ工業は、インドネシア子会社
の新工場の開所式を開いた。現地エコカ
ー